

熱中症による救急搬送状況（R7. 5. 1～6. 29）について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和7年5月1日（調査開始日）から6月29日までの状況を取りまとめましたので、その概要を公表します。

- 令和7年5月1日から6月29日までの県内における熱中症による救急搬送人員は、187人（速報値）でした。
 - 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。
 - ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年の順。
 - ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症の順。
- なお、死亡者は0名。

死 亡 初診時において死亡が確認されたもの
重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症 傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで公衆出入場所（屋外）の順。

住 居 敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等 道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等 田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関 幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕 不特定者が出入りする場所の屋内部分
（例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕 不特定者が出入りする場所の屋外部分
（例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路 一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他 上記に該当しない項目

- 直近1週間（6月23日～6月29日）における救急搬送人員（速報値）

搬送人員	年齢					傷病程度（初診時）				
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	死亡	重症	中等症	軽症	その他
35	0	1	2	11	21	0	0	11	24	0
発生場所										
住居	工事現場、工場等	田畑、森林等	教育機関	公衆出入場所		道路	その他			
				屋内	屋外					
19	4	0	1	0	4	3	4			

県内の熱中症による救急搬送状況（R5～R7）

1 年齢及び傷病程度（初診時） (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28 日未満)	乳幼児 (7歳 未満)	少年 (18歳 未満)	成人 (65歳 未満)	高齢者 (65歳 以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	0	7	96	343	668	4	45	276	761	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.8%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.3%	2.5%
令和6年 (4/29～10/6)	679	0	1	58	195	425	1	16	199	460	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.5%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.3%	67.7%	0.4%
令和7年 (5/1～6/29)	187	0	1	12	53	121	0	1	68	116	2
	(構成比)	0.0%	0.5%	6.4%	28.3%	64.7%	0.0%	0.5%	36.4%	62.0%	1.1%
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/30)	+ 74	+ 0	+ 0	▲ 4	+ 29	+ 49	+ 0	▲ 2	+ 33	+ 42	+ 1
[参考] 対R5同期比 (5/1～7/2)	+ 78	+ 0	+ 0	▲ 7	+ 28	+ 57	+ 0	▲ 8	+ 34	+ 52	+ 0

【集計対象】 調査期間中に救急搬送した熱中症（疑い含む）の傷病者の人員数

2 発生場所別 (単位：人)

年 (調査期間)	搬送 人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和5年 (5/1～10/1)	1,114	523	122	41	38	66	131	126	67
令和6年 (4/29～10/6)	679	303	64	20	18	52	83	92	47
令和7年 (5/1～6/29)	187	84	19	4	8	9	22	20	21
[参考] 対R6同期比 (4/29～6/30)	+ 74	+ 42	+ 10	+ 2	▲ 2	+ 2	+ 6	+ 3	+ 11
[参考] 対R5同期比 (5/1～7/2)	+ 78	+ 51	+ 15	+ 2	▲ 2	+ 5	▲ 1	+ 0	+ 8

